



施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		11 生涯を通した健康づくり
目的	対象	市民
	意図	生涯にわたり健康な生活を送ることができる身近な地域で安心して医療を受けられる
施策の方向		市民が主体的に取り組む地域健康づくりや疾病予防を推進するとともに、疾病の早期発見・早期治療体制及び重症化予防の充実を図ります。また、医療保険制度改革に適切に対応した保健行政の推進を図ります。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）
・令和7年度は、国と東京都の新型インフルエンザ等対策行動計画が改定されたことを踏まえ、「調布市新型インフルエンザ等対策行動計画」を改定したほか、総合的ながん対策の推進では、がん相談サポート事業や男性へのHPVワクチン接種費用の一部助成、ウィッグ等の購入費助成、産学官連携によるがん検診の受診率向上の取組等と併せて、周知啓発を図るためにがん通信を年3回作成し、全戸配布を行った。 ・さらに、令和7年4月から定期接種化された带状疱疹ワクチンをはじめとする予防接種事業や休日夜間診療・障害者歯科診療機能を含む医療ステーションの移転に向けた検討、災害医療対策の検討を進めるとともに、受動喫煙防止対策や歯と口腔の健康、生活習慣病予防など「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」に基づく各取組も継続した。 ・また、国民健康保険事業についても、第3期調布市国民健康保険データヘルス計画を推進し、各保健事業の実施により、加入者の健康増進を推進した。 ・令和8年度も、引き続き市民のからだところの健康づくりに向けた各種施策を推進する。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
健康だと感じている市民の割合	%	69.8 令和4年度	74.8	72.4	72.9	80.0 令和8年度	○	・基準値は上回り、前年度より0.5ポイントの増となった。年齢別では16～19歳は80%を超えているが、70代前半は基準値を下回っている。 ・引き続き、目標値達成を目指して計画的な取組を推進していく。
定期的ながん検診を受けている人の割合	%	47.1 令和4年度	48.6	51.6	51.1	55.0 令和8年度	▼	・基準値は上回ったものの前年度より0.5ポイント減となった。 ・年齢別では60代後半～70代前半で減少した一方、75歳以上の受診率が高い。若い世代の受診率向上のため啓発・受診勧奨の各取組の継続・改善を図る。
特定健康診査の受診率	%	51.1 令和3年度	53.3	53.2	54.5	55.0 令和8年度	○	・基準値と比べ3.4ポイント上昇し、前年度と比較しても1.3ポイントの増となった。多摩地域の他自治体と比較して高い受診率を維持しており、目標値達成に向け、引き続き取組を推進していく。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■11-1 からだところの健康づくりの推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
43	歯と口腔の健康づくり	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・妊婦・幼児の歯科健診を実施するとともに、市民ニーズにあわせて幼児の歯科相談室の開催の仕方等の見直しを行った。 ・成人期の歯周病検診・高齢者歯科健診を実施した。 ・申込み制検診の申込方法のデジタル化（二次元コードによる電子申請を導入）を継続した。 ・啓発チラシ「がん通信」による申込み制検診の周知や、申込み制検診で例年実施している20歳・30歳への個別受診勧奨を行った。 ・「新医療ステーションの整備に向けた検討会」において、調布市歯科医師会と市で障害者歯科診療機能を含む医療ステーションの移転に向けた協議を進めた。 ・調布市歯科医師会との共催による「歯と健康のつどい」を開催した。 ・がん検診・予防接種等の事業案内チラシ「健康ガイド」において、歯周病に関する普及啓発を実施した。 ・研修会の開催などによる歯科医師の知識・技術の向上を図った。	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・年代に応じて複数の部署で連携して歯と健康づくりの周知啓発を実施し、取組を進める。 ・引き続き、三師会と市で医療ステーションの移転に向けた事業・運営等に関する協議を進める。 ・若年層の歯周病検診受診勧奨を実施するほか、申込方法のデジタル化等による改善を検討する。 ・研修会の開催などによる歯科医師の知識・技術の向上を図る。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)			今後の取組の方向(Action)	
①「調布市自殺対策計画（第2次）」に基づき重点施策（子ども・若者・働く人・様々な生きづらさを抱えた人等への自殺対策）の推進を図った。 ②食育の推進については、市制施行70周年記念として食育講演会に著名な講師を招へいし、幅広い世代に啓発を実施した。 ③受動喫煙対策では、世界禁煙デー・禁煙週間のキャンペーンや間違い探しを活用した啓発チラシの全戸配布、小学生へのクリアファイル配布により、調布市受動喫煙防止条例の内容や過料規定等について周知するとともに、三師会・市民団体等の協力のもと、禁煙相談事業や防煙教育などを実施した。 ④調布市医師会・狛江市等の関係機関と連携し、東京さつきホスピタル・東京慈恵会医科大学西部医療センター・文化会館たづくりで緊急医療救護所訓練や通信訓練を実施した。			①引き続き、「調布市自殺対策計画（第2次）」に基づき、様々な課題や生きづらさを抱える方への支援やゲートキーパーの養成、こころの健康について周知啓発を実施する。 ②「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」に基づき、引き続き、関係機関・庁内連携の下、健康・食育分野の事業を推進するほか、特に食育分野においては、成人期以降の食育の充実を図る。 ③引き続き、三師会・市民団体等と連携し、調布市受動喫煙防止条例や受動喫煙対策の周知・啓発を図る。 ④調布市医師会等と緊急医療救護所・通信訓練等を継続し、災害時における初動医療体制の充実を図る。	

■11-2 疾病の早期発見・早期治療体制・重症化予防の充実

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
44	【重点③】 総合的ながん対策の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・科学的根拠に基づく効果的ながん検診体制のあり方について検討を進めた。 ・HPVワクチン予防接種について、女子への定期予防接種・キャッチアップ接種について個別接種勧奨を行った。 ・小学6年生から高校1年生相当の男子を対象に接種費用の一部助成を行った。 ・がん相談サポート事業を継続実施した。 ・市内企業と連携し、「がん通信」及び「健康ガイド」の全戸配布により、がん検診の案内や患者支援の取組紹介などを実施した。 ・女性がんの検診受診率向上を図るためのキャンペーンを実施した。	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・がん検診体制あり方検討会から、令和7年1月に提出された「調布市のがん検診体制のあり方に関する提言書」に基づき令和10年度を見据え、国の指針及び科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた準備を行う。 ・がん相談サポート事業の検証や仕事と治療の両立支援に関する検討を進める。 ・HPVワクチン予防接種について、女子への定期予防接種及び男子への接種費用の一部助成を継続し、国や東京都の指針に基づき適切に実施する。 ・LoGoフォーム等のデジタルツール活用等による業務改善を継続する。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①新型コロナウイルスワクチン接種について、国の補助金が廃止されたことに伴い、近隣自治体の動向を踏まえ自己負担金額を設定した。 ②令和7年4月から定期接種化された带状疱疹ワクチンについて、医師会と連携し適切に対応した。 ③新型インフルエンザ等対策行動計画については、令和6年7月に新型インフルエンザ等対策政府行動計画が改定され、令和7年5月に東京都新型インフルエンザ等対策行動計画が改定されたことを踏まえ、令和8年3月に調布市新型インフルエンザ等対策行動計画を改定した。	①各予防接種事業において、国の法令及び実施要領並びに東京都の通知等に基づき適切に実施する。 ②高齢者肺炎球菌ワクチンのワクチン種類変更について、円滑な実施に向けて医師会と連携し適切に対応する。 ③調布市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定に伴い、調布市事業継続計画（感染症編）の改正を検討する。

■11-3 国民健康保険事業等の実施

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
45	国保ヘルスアップ事業の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・第3期調布市国民健康保険データヘルス計画（令和6年度～令和11年度）を推進し、各保健事業の実施により、加入者の健康増進を推進 ・令和8年度に行う調布市国民健康保険データヘルス計画の中間評価に向けた検討を実施	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・第3期調布市国民健康保険データヘルス計画に位置付けた個別保健事業を確実に実施し、PDCAサイクルに則った評価を実施 ・新規保健事業について、令和6・7年度にかけて蓄積した実績値をもとに令和8年度に目標設定を実施 ・各保健事業について、令和8年度に中間評価・見直しを実施 ・令和8年度の中間評価を参考に調布市国民健康保険データヘルス計画を推進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①国民健康保険制度の安定的な運営に努め、引き続き、医療費の適正化や国保財政健全化計画に取り組んだ。	①国民健康保険制度の安定的な運営に向けて、医療費の適正化を推進し、国保財政健全化に向けた取組を進める。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和7年度の実績及び令和8年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・生活習慣病等の発症予防や病気による死亡リスクの低下、生活機能レベルの低下の予防など、健康寿命を延ばすための事業について、PHRの推進やビッグデータの利活用により、デジタル技術を活用しながら推進する。【令和8年度】 ・健（検）診や各種健康事業等において、電話やハガキによる申込方法に加え、オンライン等によるスマートフォンで完結する方法をさらに拡大するほか、申込者へのリマインド方法を検討し、受診率・参加率の向上を図る。【令和7年度・8年度】	・アフラック生命保険（株）と市で締結した「調布市とアフラックとのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づき、がんに関する普及啓発やがん検診の受診奨励などの取組を推進する。【令和7年度・8年度】 ・がん患者支援、受動喫煙対策、自殺対策に関して、民間企業・大学・病院・保健所等と連携した取組を推進する。【令和7年度・8年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）に基づく食育を推進することを通じて、食品ロスの削減につなげる。 ・環境への負荷の少ない自転車の利用の促進を図ることにより、市民の健康増進につなげる。【令和7年度・8年度】 ・クーリングシェルターの周知を推進し、環境に配慮した熱中症予防の周知・啓発に努める。【令和7年度・8年度】 ・医療ステーションの移転に際しては、環境に配慮した施設整備等を検討する。【令和8年度】	・避難所での生活となった際の健康を守るため、普段の健康づくり意識の醸成や、運動習慣・体力づくりにつながる各種取組を推進する。【令和7年度・8年度】 ・調布市医師会等の医療関係団体との継続的な緊急医療救護所訓練や通信訓練を通じて、災害時における初動医療体制の充実を図る。【令和8年度】 ・感染対策用品については、ローリングストックの視点を取り入れながら、備蓄品の確保・充実を行う。【令和8年度】 ・医療ステーションの移転に際しては、フェーズフリーの考え方を踏まえて整備を進める。【令和8年度】